

あなたへ



藤沢市議会議員

加藤なを子

日本共産党

若い人たちが 希望をもつて



まちで要望をきく

はじめまして、いかがお過ごしでしょうか。
加藤なを子です。

わたしは藤沢に移り住んで25年になります。市会議員をしながら、3人の娘を育ててきました。その娘たちも成長し、次女がこのほど結婚しました。

次女から、つぎのような手紙をもらいました。

「お母さんは仕事が忙しく夜遅く帰つてく

た。

ることもあって、さびしいこともあったけど、そのおかげで料理が好きになり、自分で考えて行動することができました。

……これまで私のやりたいことをやらせてもらい、いつも自分が選んだ道を進んでこられたのは、お父さん、お母さんのおかげです。ありがとうございます」

議員活動で忙しく、娘たちに負担をかけていただけに、ほっとしました。

わたしは、子どもたちがすこやかに育ち、

すべての若者たちが誇りをもつて働き、希望

をもつて結婚し、子どもを育てることができ
る社会を願っています。そのため議員とし

て働いてきました。

ところがどうでしょう。

若者たちはいま、就職もままならず、職についても安い給料で長時間働かされるなど、結婚したくてもできない状況におかれています。

わたしは、すべての若者が未来に希望をもつて生きられる社会を心から願っています。

これからも、市民のみなさんに寄り添いながら、いっしょに行動し、切実な希望の実現に向けて、議会の内外でがんばっていこうと思っています。

城下町 小田原でのびのび育つ

カンケリ、縄跳び、探検：

わたしは結婚するまでの25年間を城下町の小田原市で過ごしました。一人っ子でしたけど、近所には子どもたちがたくさんいたので、いつしょにカンケリをしたり縄飛びをしたりして遊びました。

海と山に囲まれた街の近くにはまだ防空壕があつたので、ロウソクの灯りを頼りに探検遊びもしました。

「父の仕事」で作文発表
芦子小学校時代は、おとなしくて目立たない子どもでした。得意な教科は国語で、作文が好きでした。

父は自宅で紳士服の仕立てをしていました。「父の仕事」についての授業で作文を書いたとき、みんなの前で発表しました。クラスの仲間が、父の仕事姿を絵に描いてくれ、その前で読んだので、何かの発表会だったのだろうと思います。
パジャマなどを作る家庭科の宿題では、いつも父に手伝ってもらいました。



3才の頃 母といっしょに

声の表現に興味わく

小学5年と6年では放送部を担当しました。昼休みや放課後に先生が書いたのを読ん

だり、自分で書いて読んだりしました。

クラス対抗の放送劇では、わたしのクラスが優勝したこともありました。放送部の活動を通じて、少し自分に自信を持つようになりました。

おとなしい子が市会議員：

白山中学校では、日直当番もあり、その日のできごとや天気などを書いて先生に提出しました。

それを読んだ先生にほめられたこともありました。運動は苦手でしたが、文章に表現することは好きでした。

中学の文集には、「目立たない一番おとなしい子」のトップにあげられました。

先日、中学の同窓会があり、30年ぶりにみんなと会いました。その席で、「市会議員をやっている」と話したら、「信じられない」とびっくりされました。



父と3人の娘たちとわたし

あたたかい友情いまも

高校を卒業したら働きたいと思っていたので、いろんな資格がとれる県立小田原城東高校の商業科に入学しました。

クラスは女子が多かったので、自分をありのままに出せる校風でした。高校時代の友だち7人とは、いまだ年に3回ぐらいは温泉の旅を楽しんでいます。

高校では簿記や珠算の資格をとり、英・和文タイプも覚えました。

自然観察が好きなので生物部に入りました。丹沢に植物採取に行ったり、プランクトンの生態を調べたりしたほか、アサガオを観察して大気汚染も調査。アサガオの葉の変化を図に書いたり、写真に撮つたりして先生に報告しました。2年生からは部長を務めました。

あるとき仕事でミスをしたら、上司から「一人っ子には任せられない」というようなことをいわれました。「のんびり屋で、あまえんぼうの一人っ子はダメだ」といわれ、人間が否定されたようで口惜しかったです。

人生を変えたできごと

叔父の紹介で銀行マンと結婚し、横浜市で新しい生活がスタート。長女と次女が生まれたあと、4年間住んだ保土ヶ谷から藤沢市の湘南台に移り住みました。

幸せな日々を送っていたわたしに、社会に目を向けさせてくれたのは、座間市に住む友人でした。

新居を構えた友人に招かれて行くと、厚木基地を飛び立つ米軍のジェット機の爆音で、会話が続かないほどでした。

もつとびっくりしたのは、上空を飛ぶ米軍機にむかって、2歳になる彼女の娘さんが「ア

声

まわりを明るくするなを子さん

なを子さんとは、高校で知り合った親友です。笑顔が素直で、まわりを明るくします。3人の子育て中に地域のボランティアに熱心で、地域貢献がなを子さんの原点になっています。

安藤 豊子

ちよっぴり□惜しい思いも⋮

高校を卒業後、大井町に本社があつた第一生命に結婚するまでの9年間勤めました。この間は、海外や国内旅行を楽しみ、テニススクールや習いごとに通うなどOL生活を満喫しました。

メリカ帰れ！」と叫んだことでした。それほどイヤだったのでしょうか。

友人から、新日本婦人の会（新婦人）をすすめられました。この出会いが、わたしの人生を変えるスタートになりました。

声

私と加藤なを子さんは横浜時代からの友人です。引っ越してからも子どもたちの年代も近いのでお互いの家を訪問し、楽しく過ごしていました。引っこ抜いてからも子供たちの年代も近いことを思い出します。ある年の年賀状に「藤沢市議に立候補する」と書かれていました。「わあ、すごい！」と感動したのを覚えています。そして今回県議に挑戦！

市議で培つた経験をもとに県議に挑戦します。私たちの声を県に届けてください。人を包みこむ優しさを發揮しがんばって下さいね。

吉永ゆき子

藤沢で3人の子ども育てて

ぴったりだった「親子リズム」

まだ知り合いもなかつたわたしを、すぐに新婦人の湘南台班の会員さんが訪ねてくれました。さっそく子育て体験会に、ベビーカーを押して参加しました。

みなさんにおたかく迎えてもらい、すぐには班の中に親子リズムができました。親子で体操をしたり、指遊びや紙芝居をしたり、豆まきやクリスマスなどを楽しみました。

イベント中に動き回るわが子を怒ったことが何回もあつたのですが、先輩から「怒らなくとも大丈夫よ。そのうちに分かるから」とアドバイスされました。

親子リズムのリーダーを引き受けたわたしも、各地の親子リズムの援助に回るようにな

つて、子どもを叱るお母さんに、先輩からいわれた言葉をいつしかかけていました。親子リズムは母親同士がつながりあえる場でした。

プロポーズの言葉	結婚式はどこでしようか
好きな花	コスモス、フリージャ
好きな色	レモンイエロー
好きな果物	桃
好きな食べ物	カレーうどん、甘いスイーツ
得意な料理	餃子、春巻き
アルコール	少しだけたしなむ。甘いお酒が好き、アンズ、梅酒など
趣味	自然観察、いまは忙しく出かける機会が少ないので、お訪ねしたお家の花を眺めるのがうれしい
カラオケ	今井美樹、夏川りみ、八神純子などの歌を歌う。おしゃべりも大好き
なぜ藤沢へ	海が好きなので、海のあるところに住みたくて

空気みたいに感じていた

平和がいま…

このように、わたしの人生が大きく変わつていいくべきことが次々おきました。

平和や教育、子育て、女性の地位向上、安全な食べ物など社会をよくする草の根の運動のすばらしさを実感する毎日でした。

これまで自分のことや家族のことしか考えられなかつたわたしには、草の根の運動をしている先輩がとても輝いてみえました。

今まで「おかしい！へんだな？」と感じていても「しかたがない」とあきらめていたことが、みんなで力を合わせて行動すれば変えられることが実感できる充実した毎日でした。

大きく広がった人生観

空気みたいに感じていた

新婦人と出会うまでは、わたしは、核兵器廃絶や憲法のことにはほとんど関心がありませ

んでした。平和は当たり前と思つていきました。どうして他の人は熱心なんだろうと思つていてくださいです。

母親大会に参加して、櫛田ふきさん（日本婦人団体連合会会長）が「寝ている間にも戦争か平和かで、綱引きが行われているのよ。平和の声をあげなくては……」というようなお話を聞いたときは、とてもショックでした。

女性議員との出会い

通勤していた20歳のころですが、共産党の女性議員が、小田原駅前でよく宣伝していました。その話に共感だったので、はじめての選挙では共産党に投票し、その後も支持していました。そのときは、まさかわたしが、共産党の議員として駅前で訴えることになるとは思いませんでした。

当選以来わたしは、一般質問を毎回行つてきましたが、初質問で取り上げたのは、不妊治療費の助成制度の新設でした。
姉妹都市の松本市ではすでに助成を実施していましたので、藤沢でもぜひと求めました。すぐには実現できませんでしたが、いまでは1回の治療に10万円（年3回）の補助ができるようになりました。

みなさんの願い携え

市政の場へ

藤沢に越してから、身近にいる党员に呼びかけられて共産党に入りました。

草の根の運動に取り組んでいたわたしに、市会議員選挙への出馬の話があつたのは12年前でした。そして、みなさんのご支援で市政の場に押し上げていただきました。



議場にて

子どもの医療費

無料化めざす運動で25年

議員になる前から、子どもの医療費無料化の運動を続けてきました。署名を添えて議会に陳情・請願したり、各会派をまわつたりして必要性を訴えました。

議会を傍聴すると、陳情になんの意見もなく不採択にする議員が当初は多くいました。あまりの冷たさに怒りを覚えました。

そのなかで、共産党の議員だけは、わたしたちの意見を真剣に受け止め、いつも賛成してくれました。

子ども医療費無料化に取り組んで25年。みなさんの運動で、小学6年生まで無料にすることができました。つぎは県として中学3年生まで無料にするために、がんばりたいと思います。

声

加藤なを子さんは市議会議員として、学校

トイレの改修の実現、30人学級、中学校給食実施のために取り組んできました。

今度は県として、少人数学級や中学校給食を推進するように、ぜひ県政の場で働きかけて下さい。私も教育条件の向上に加藤なを子さんと力を合わせがんばります。

子どもたちの願いにこたえて

わたしは、教育環境の整備にも取り組んできました。小中学校のくさいトイレの改修もその一つです。

子どもたちが、臭いトイレに行けずにガマンしているという訴えを聞き、学校のトイレを調査し、学校関係者からも話を聞いて改善を求めました。

少しづつ改修が進み、現在は大道小学校で工事が行われています。

明るく、きれいになつた湘南台小学校からは、校長先生からも感謝されました。

税金のムダづかいをチェック

善行6丁目の土地購入疑惑問題では、市議会百条委員会の委員として、現地調査し1億円を超える土地のムダづかいを追及しました。堆肥化センター建設問題では当初から、この計画は見通しがズサンなもので中止するよう求めました。それにもかかわらず建設されました。結局、閉鎖することになり、市民の税金がムダに使われてしまいました。



住民のくらしに心をよせて

これまでたくさんの相談を受けてきました。みなさんから寄せられた相談は生活保護

や保育園の問題など1500件くらいになります。街頭で宣伝をしている最中に相談されることもあります。解決を急がれるときもあります。

夫から暴力を受けている女性の相談を受けたのは年末の31日でした。このままで生命に危険が及ぶと思つて、すぐに対応しました。

わたしの議員活動の原点は、あなたの話をよく聞くこと、困っている人に心を寄せることです。いつも住民の声を中心に据えて活動するようにしています。

相談を受けたときは、現地、現場を見てか

ら取り組んでいます。議員の仕事は日々勉強だと思います。

湘南台駅前のパチンコ店出店に反対する運動では、「パチンコの街にしたくない」と24000人の署名を集めた住民の願いを質問しました。終わった後、「わたしたちの気持ちを発言してもらつた」と感謝されました。

数年前、湘南台駅前のパチンコ店建設反対運動をいつしょにした際、地域やPTAのみなさんをまとめるのに抜群の力を発揮されました。

県内の基地の問題から中学校給食まで、課題はやまほどあります。加藤なを子さんならできます。頼みます。

元中学校校長・上野 武雄さん（湘南台）

声

加藤なを子さんは、御所見堆肥化センター建設反対運動で初めてお会いしました。毎週のように夜の集会にいらして、地域住民の視点で施設の問題点や反対運動の取り組みなどをいつしょに話し合つてくださいました。この出会いで私の意識が変わり、よりよい社会をめざして行動したいと思っています。

得田 菊江（用田）



事業中止で閉鎖中の堆肥化センター

安心できる高齢化社会へ

母が認知症でグループホームに入所するため、86歳になる父は、いま一人暮らしです。身の回りのことはできていますが、子どもたちにも協力してもらいたいながら、父と母の様子を見に行っています。夫も自分の父母の介護を行っており、家族の介護負担の大変さを実感しています。

高齢者の介護や医療の拡充が求められるのに、安倍首相は介護や医療・福祉予算を削っています。

いまでも特養ホームに入りたくても入れない高齢者がたくさんいるのに、現知事がやっていることは時代と逆行していることです。

わたしは、高齢者のみなさんが安心して暮らせる神奈川をめざして、これからもがんばります。

こんどは県政に挑戦

これまで市会議員として働いてきましたが、こんどは県政に挑戦します。

わたしが大切にしてきたのは、市民の声を議会で取り上げ、実現するために、みなさんには寄り添つていっしょに取り組むことです。中学校給食の実施や保育園増設、私学助成の拡充などをめざしたいと思います。藤沢高校と女性センター跡地の地元利用なども求めたいと思っています。

爆音の解消、基地の撤去、米原子力空母の母港撤回も、知事に問いたいと思います。

残念ながら県議会にはいま共産党の議員はいません。なんとしても勝利し、市民のみなさんと県政をつなぐパイプ役を果たし、県の税金の使い方を変えて切実な願いを実現したいと思います。

ぜひ、あなたのお力を貸してください。

女性を県議会に送りたい。加藤さんを送りたい。

どうして？やさしく、強く、たくましい人だからだ。

イエス、ノーをはつきり示すのは女性の加藤さん。その中でも加藤なを子さんは市議3期、くまなく日々走り回った。市民の真の味方だ。だから無党派の私だってのり出したんだ。

気配り、めくばり、優しい心の加藤さんに期待しています。

みなさんと一緒に加藤さんを応援して下さい。知事がふるえ上がる人はだれ？それは加藤さん。

市民の立場でノーをはつきりつきつけるからだ。ガンバロー。

西條 節子（元市議会議員）

自然を宝物のように大事にして、つぎの時代の子どもたちに渡していきたい、と願っています。

効率と便利さだけの追求から、この地域らしいほんとうの豊かさを求めてー。住民の願いを、若い新鮮な力あふれる加藤なを子さんに託します。

飯田 玲子（片瀬）

党派でなく人で、加藤なを子さんを選びます。子育て・福祉に市議12年間尽力。

軍事費￥0 病院を！

兵士0人 教師増員を！

戦争を放棄した中米の平和な小国コスタリカのような神奈川を創るのはあなた！

國枝 健さん（鶴沼藤が谷）

「共産党のいない県議会なんてつまらない。藤沢は5人も定数があるのに」といつも悔しがっております。

そこへ加藤なを子さんの登場。まさにうつつけ、「原発・原子力空母ノー。ご当地エネルギー」で、がんばる姿を見てみたいですね。

川崎 健

（東北大学名誉教授）



加藤なを子のプロフィール

1958年東京都生まれ。
小田原市立芦子小学校、白山中学校、
神奈川県立小田原城東高校卒。
第一生命本社に9年間勤務。
新日本婦人の会藤沢支部常任委員。
現在、市議12年。家族は夫と3女。



藤沢市政新聞

2015年3月号外

日本共産党藤沢市委員会発行 藤沢2-3-2
TEL 0466-25-4776 FAX 0466-25-4761

加藤なを子市議員の活動と実績を紹介します